

えがお いっぱい

令和 6 年 6 月 26 日
富士市立富士南小学校
学校だより 7 月号

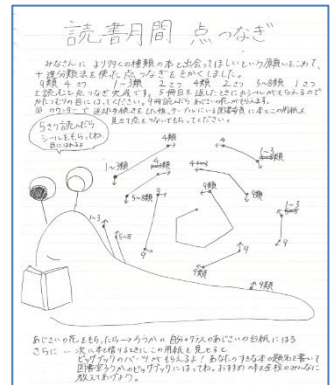
小中一貫教育目標 「やさしく いきる」
重点目標 「あいさつがいっぱい えがおもいっぱい」

6月・7月の生活目標 「自分や友達のよさを見つけよう」

6月は、「あじさいキラキラ読書月間」(6/3～6/21)でスタートしました。図書委員会は、富士南小学校の子供たちが、心を豊かにするためにより多くの種類の本と出会ってほしいと願い、「あじさいキラキラ点つなぎ」を提案してくれました。9類の本4冊、1～3類の本2冊、4類の本2冊、5～8類の本1冊を読み終えたら点つなぎが完成します(1年生は絵本を9冊です)。また、点つなぎが完成したら、あじさいの花の形をした折り紙をもらって、図書室の前の廊下にある各クラスのあじさいの葉の形の台紙に貼ります。最終的には、クラスで一かたまりのあじさいの花が出来上がっていくことになります。さて、お子さんは目標を達成したでしょうか？

その他にも、「ビッグブック」お勧めの本の紹介コーナー、担任による読み聞かせ、図書ボランティアの方による読み聞かせ、お勧めの本紹介(昼の放送)が展開されました。図書室も「あじさいキラキラ読書月間」を盛り上げるための掲示物で飾られ、落ち着いた雰囲気の中で、本に親しむ多くの子供たちの姿が見られました。

7月は別の名を「文月」(ふづき・ふみつき・ふみづき)と言います。その由来は、短冊に詩歌や字を書いて、書道の上達を祈った七夕の行事にちなみ、「文披月(ふみひらきづき)」が転じたというのが定説とされています。文化的な空気が漂うこの季節です。梅雨の足音も聞こえてきていますし、「あじさいキラキラ読書月間」を通して、子供たちの読書意欲の高まりも感じられますので、御家庭でも、引き続き読書に親しむ時間を大切にしていただけたらと考えます。「子供の頃に読んだ本はね…」といった会話がお子さんの読書の幅を広げるきっかけになるとと思います。よろしくお願いいたします。



◇「やさしく いきる」◇

過日、正門西側の横断歩道であいさつをしながら子供たちの登校の見守りをしていたときのことで。

4年生の男の子が、北側から横断歩道を渡りながら私にあいさつをした後、西側から登校してきた男の子に「〇〇さん、おはよう！」と元気よく声を掛けました。しかし、「……。」返事がありません。すると、4年生の男の子は、「何かあった？どうしたの？」とすぐさま言葉を変えて話し掛けていました。(いつもなら、あいさつが返ってくるのに…)普段と違った友達の様子が気に掛かり、咄嗟に発出された「何かあった？どうしたの？」だったと推察できます。その後、二人がどのような会話をしたのかは分かりませんが、心配して話し掛けてくれた4年生の男の子のやさしさに触れた友達の心は少し穏やかになって一日のスタートが切れたことと思います。

今年度より、富士南中学校区で学校教育目標を小中一貫教育目標として統一し、「やさしく いきる」といたしました。上述した4年生の男の子は、真に「やさしく いきる」その姿だと考えます。友達に対して「やさしく いきる」、下級生に対して「やさしく いきる」、人に対して「やさしく いきる」、自然に対して「やさしく いきる」、物に対して「やさしく いきる」。そのような姿や場面を見掛けたら、「やさしく いきてるね。」と声を掛けていきます。御家庭でも、機を捉えて「やさしく いきる」具体的な姿について話題にいただけたら幸いです。